

CENTER NEWS

2014.4



KG&ERc

No.332



目 次

| | |
|----------------------------|------------------|
| この実績を将来へ 佐藤 和志 | 1 |
| 2月定例理事会 | 3 |
| 技術者紹介コーナー（第121回） 佐川 厚志 | 4 |
| 【シリーズ：表彰論文⑳】 秋山 晋二 | 中小企業人材確保推進事業コーナー |
| 地下水調査を実施する上での層別地下水の考え方の必要性 | 6 |
| NEW FACE 南 逸人 | 8 |
| センター入所式報告 | 9 |
| 行事・講習会・資格試験等のご案内 | 10 |
| こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話 | 11 |
| 編集後記 | 12 |

表紙説明

写真は豊臣期の大坂城の天守閣の石垣です。現在の大坂城天守閣を支えている石垣とはかなり趣きのことなることがわかります。この石垣は自然石を多用した野面積と呼ばれる古い技術で築かれています。石垣の高さは約6mで、勾配は約70度で反りがなく直線的です。

今回が初めての発掘ではなく、1984年金蔵近くの水道工事に伴う発掘調査で見つかったもので、発掘調査後埋め戻されました。

大阪市の豊臣石垣公開プロジェクトの推進に伴い、前回の発掘調査後30年を経て再発掘し、保蔵状態が確認されました。

(文責 中山義久)



出典: 1) 大坂城跡発掘調査(OS13-38次)現地説明会資料、大阪市教育委員会・大阪市経済戦略局・(公財)大阪市博物館協会。
2) 大阪城リーフレット、(公財)大阪市博物館協会・大阪城天守閣



この実績を将来へ

～新たな体制で新たなステージへ臨むために～

専務理事 佐藤 和志

私の使命は、関係者の方々に満足していただきそれを将来につなげることです。前年度はこれらを高いレベルで達成できたので、5年前にセンターに着任して以来、最も充実した気分で新年度を迎えさせて貰いました。

“仕事は断らない・顧客には絶対に迷惑をかけない”を合言葉に一丸となってやってきた結果が前年度のセンターの実績です。一般に、組織の成果は人材育成と経営計画によって大きく左右されるといわれますが、これらを着実に進めてきたことが実を結んでくれました。それをやり切った職員の頑張りと理事会を中心とした的確な運営が功を奏したものと思っています。もちろん、全国的な仕事量の拡大に伴う受注量の大幅な増加と、組合員をはじめとする関係者の方々の協力が不可欠であったことは申すまでもありません。また、この実績は組織力の底上げを示すものであり、今後につながる大きな自信と財産となりました。この紙面をお借りして、ご協力頂いた皆様方に心から感謝を申し上げます。

協同組合であるセンターの経営の浮沈は、業界の好・不況の波に大きく依存しています。その歩みを見ると、創立から平成8年度までは、好況が続く業界とともに順調に推移してきました。バブル崩壊（平成3年頃）による大きな変化はあったものの、関空や羽田に代表されるウォーターフロントの開発の余波もあり、この業界では平成6年頃まで好調が持続していました。そこに平成7年の阪神淡路大震災が起きて、再び特需となり平成13年頃までそれが続くことになったのです。平成14年度には、不況が顕在化していたにも拘わらず流れに身を任せていたことと、環境部門の立ち上げが相まって大幅な赤字に転落してしまいました。平成15年度からは再建を余儀なくされたのですが、ぬるま湯に浸かって自立することをしてこなかった組織の宿命として、泥沼状態を味わう羽目になりました。不況が続く業界とともに耐える時代へと入り、黒字すら危うくなって暗中模索の苦悩が続くことになったのです。その間、現在の高村理事長を中心とした理事の方たちの“何とかしなければとの思い”が、人事を含めた組織の活性化という行動を促しました。紆余曲折はあったものの、守口試験室の閉鎖に伴う摂津への統合や創立30周年を転機にして、前年度の再浮上へとつながることになったのです。

組織の活性化の目的は、経営資源の有効活用であり、最も重要な資源である「人財」のもつ能力を如何に発揮させるかです。平成21年度に着任した私は、これまでの数多い転身経験から、まず職員の意識改革つまり風土改革に着手しました。組織には長年培われてきた風土があり、その認識と現状に合わせた改革が活性化そのものであると考えていたからです。センターのネガティブな風土は“ぬるま湯”でした。しかし、幸いだったのは職員や関係者の方々が、長引く低迷によって“ゆでガエル状態”になる寸前にあることに気付き始めていたことです。センターを維持・拡大するためには、その源泉となる“成果”が必要です。そ

れは、職員の「やる気（動機付け）×能力（人材育成）×方向性（ビジョン）」の掛け算で決まるという持論が私にはあります。必然的に目標は、ひとり一人のやる気・能力を最大化し、方向性を正しく保つこと、そしてこれら3つの要素を効果的に機能させる組織を創ることになります。そして、具体的に推進したのは、内部的には方針の明確化とその共有および人材育成であり、外部に対しては存在をアピールするための発信です。

これらの成果が昨年度の好業績に結びついたので。と言いたいところですが、何よりも仕事量があったからで、仕事を頂いた組合員の皆様のご協力の賜物です。アベノミクス効果で仕事が増えたラッキーの要素が相当に大きかったのです。しかし、この好機を確実に活かすことができた背景には、風土改革の成果があったことも事実です。なにせ、前年の2倍近い仕事をほぼ同じ陣容でやり遂げたのですから。津波のように押し寄せる仕事を断ることなく、受け入れて生産した主な原動力としては、活性化した人財・更新した設備・ジオ・ラボネットワークの存在が大きいと思っています。これまでに無い事態に遭遇してそれを乗り越えた経験は、これからにとって大きなアドバンテージになると確信しています。内部的には、この量的成長を質的成長につなげて組織の進化に結び付けることが当面の課題です。また、外部的な課題としても、受注量の確保・業務集中時の生産体制・知名度・存在のアピールなどが山積しており、未だ発展途上の真ただ中にあると言えます。

協同組合は、共通の思いを持った人たちが、お金儲けのためではなく、自分たちの仕事の効率化や強みを発揮するために、自主的につくり・民主的に運営している組織です。また、行動の規範は、相互扶助と全体最適におかれています。運営的には「サービス」と「組合員の入用（必要）の充足」が基本になっています。当然のことですが、組合員からの入用すなわち仕事が無ければ成り立たないのです。組合員の義務の一つに「共同事業利用義務」があります。京都府中小企業団体中央会の資料では「組合員が、組合の事業を利用するか否かは自由であり、利用を強制されることはありません。しかし、組合は組合員の相互扶助により成り立つものであり、或る組合員の利用がないとそれだけ事業の成果が減少し、他の組合員の利益が損なわれることとなりますので、このような意味で、組合員は、基本的に事業を利用する義務があると言えます。」と述べられています。

組合がその強みを活かして新たな発展を目指すためには、組合員企業とセンターとの相互依存関係を強め、共存共栄できる環境を構築することが重要になります。強みである協同組合らしさは、経済性では簡単に判断できない「質」という部分を大切にすることで入用に応え、付加価値のある成果を出すことで発揮できるものと思っています。このために効果的なのが、全国の土質試験協同組合で組織するジオ・ラボネットワークの連携強化です。現在も、高品質で信頼性の高いデータを提供するための活動として、情報の交換や技術力の相互補完などを行っていますが、今年度は事務局として、その質的な向上とスケールメリットを活かした魅力的なサービスの提供を推進しています。

大きな転機をむかえているセンターにとって、今回の異次元に近い仕事量は、絶好のタイミングにこれからを考えるための多くの示唆と実績さらには余裕を与えてくれました。決して有頂天になることなく気を引き締めて、センターの使命である“組合員に、業界に、社会に、なくてはならない存在になる！”の実現に努めてまいります。自社と組合そして社会のために、より一層のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

平成 26 年 2 月 25 日（火）15 時 00 分より、大阪キャッスルホテル会議室において、理事 8 名が出席して開催した。

定款の定めにより、高村理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
1月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 1月分事業報告の件
 - ①試験実施状況報告
試験依頼件数 273 件、受注金額は 40,098 千円、請求金額は 48,783 千円、未試験金額、83,907 千円。
 - ②収支実績報告
入金額 42,567 千円。
- 3) その他の件

【審議事項】

- 1) 平成 25 年度利益予想の件
- 2) 平成 25 年度剰余金処分（案）検討の件
- 3) 平成 25 年度組合職員期末手当・役員期末報酬支給検討の件
- 4) 平成 26 年度（第 35 期）収支予算（案）策定の件
- 5) 組合職員人事の件
- 6) その他の件
 - ① 静的三軸圧縮試験機（3 連）テスコ製 購入の件
 - ② 全国中央会 平成 26 年度活路開拓調査・実現化補助事業申請の件

お知らせ

☆ 第 34 期通常総会開催

開催日時：平成 26 年 5 月 30 日（金）15：00 ～

開催場所：大阪キャッスルホテル

☆ 組合員企業代表者変更

| | 旧 | | 新 |
|--------------------|-------|---|-------|
| ・株式会社 東建ジオテック大阪支店長 | 石井 力 | ⇒ | 藤井 圭介 |
| ・日本基礎技術 株式会社 関西支店長 | 田中 幸三 | ⇒ | 谷川 英毅 |
| ・国際航業 株式会社 西日本事業本部 | 大神 昭徳 | ⇒ | 志賀 直樹 |



所 属：中央復建コンサルタンツ株式会社

氏 名：佐川 厚志

出身地：山口県

生年月日：1982年12月4日

中央復建コンサルタンツの佐川と申します。技術者紹介コーナーということで、私の簡単な自己紹介と地元山口の紹介を書かせていただきます。

出身は山口県で、小学5年から中学3年まで宮崎県で過ごし、その後再び山口県に戻り山口の大学に進学しました。

高校の頃に地理に興味があったため、大学では比較的近い分野である地質学を専攻しました。大学4回生からは活断層の研究を行い、山奥まで行って踏査をしたり、ボーリング調査やトレンチ調査を行いました。大学院ではさらに調査範囲を広げ、断層の連動性などについても考察しました。

その後大学で専攻したことを活かしたいと思い、建設コンサルタントである現在の会社に入社しました。入社後2年間は騒音・振動・大気などの環境調査に携わり、3年目からは軟弱地盤調査や土壌汚染調査など、地盤関係の業務に携わっています。業務以外の活動では、建設コンサルタント協会やその他の委員会に参加し始めたところで、これから他社の方々や先生方と交流を深めていき、成長していきたいと考えています。

さて、私の地元である山口についてですが、良く知られているのは下関のふぐ、美祢の秋吉台・秋芳洞、萩の城下町、岩国の錦帯橋などだと思いますが、今回は私の主観で、仕事に関連しつつ、観光も楽しめる場所を紹介したいと思います。

<角島大橋>

下関北部の日本海沿いには角島大橋と呼ばれる橋があり、1993年に着工し2000年に開通しました。この地域の海岸は国定公園内であることから、橋脚の高さを抑さえ、景観に配慮した構造となっています。また、本土と角島の間にある鳩島に橋脚を建設する案もありましたが、自然景観保護を考慮し、島を迂回するルートが採用されました。角島大橋はこのような自然景観保護の取組が評価され、「土木学会デザイン賞 2003」の優秀賞を受賞



角島大橋

しています。橋の開通後、角島は観光名所となっており、白い砂浜とエメラルドグリーンの海が魅力で、海水浴やキャンプができ、ドライブにもおすすめです。

<笠山>

萩市の中心部から北東に車で10分程行ったところに笠山と呼ばれる標高112mの活火山があります。玄武岩質安山岩の溶岩台地の上にスコリア丘が乗っており、溶岩台地は11,000年前、スコリア丘は8,800年前に形成されたと考えられています。直径30m、深さ30mの噴火口まで降りることができ、褐色のスコリアが特徴的です。この「笠山」の名の由来は、遠くから眺めた姿が、女性のかぶる「市女笠」に似ていることからきているそうです。

笠山の麓には盛夏でも気温が15℃前後と涼しい天然のクーラー「風穴」や、25,000本の樺の群生林があり、2月下旬～3月下旬頃に見ごろを迎えます。また、萩ガラス工房があり、笠山で採掘される石英玄武岩（安山岩）を精製して作られたガラスが楽しめます。

<一の坂川>

最後に、山口市に流れる一の坂川について紹介します。山口市を南北に流れる一の坂川は流路延長7km、流域面積10.5キロ平方メートルの小規模な河川ですが、室町時代の初期にこのあたりを治めた大内氏は、これを京都の鴨川に見立ててまちづくりを行ったと言われていました。昭和10年には「山口ゲンジボタル発生地」として国の天然記念物に指定されています。

昭和30年代後半、水質悪化によりホタルの棲めない環境の河川になってしまいましたが、昭和46年の台風による水害を契機にホタルの保護、防災上の河川改修の必要性から昭和47年から49年にかけて全国でも例のないホタル護岸工法により整備されました。具体的には、①ホタルの幼虫が生息出来るよう蛇行や落差によって流速を低減させる、②木杭や玉石などの自然の素材を用いて、ホタルの生息しやすい環境をつくる、③川沿いにはサクラ、ヤナギ、サツキなどを植栽し、川面に木陰をつくるとともに、美しい並木を形成する、などの工夫が成されています。これにより、初夏にはホタルの乱舞を見ることができ、春には桜並木を楽しむことのできる桜の名所となっています。

以上、長くなりましたが、山口に仕事や観光で行った際は是非立ち寄ってみてください。次回技術者紹介は同じ会社の後輩である間宮さんをお願いいたしました。間宮さん、よろしくお願いいたします。



笠山



笠山のスコリア



山口市提供
一の坂川

地下水調査を実施する上での層別地下水の考え方の必要性

国際航業株式会社 ○秋山 晋二
 日本物理探鑑株式会社 都築 孝之
 キタイ設計株式会社 五十嵐 慎久
 自然地下水調査研究所 竹内 篤雄

1. はじめに

地すべり調査などでボーリング孔を用いた地下水調査を実施する場合、帯水層毎に地下水観測孔または観測計器を設置し、層別地下水の水位や挙動を正確に測定することが重要となってくる。

一般に層別地下水の考え方が必要となる地下水調査には、「地すべり調査」、「土壌・地下水汚染調査」、「井戸等の水源開発調査」、「下水・地下埋設物等の工事に伴うメタンガス調査」などがあるが、本発表では地すべり地における具体的な調査事例をもとにその有効性と必要性について検討した結果を報告する。

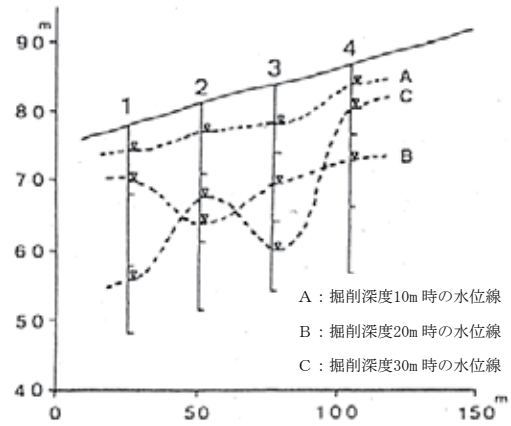


図-1 試錐掘削深度に伴う水位等高線の変化⁴⁾

2. 層別地下水の考え方

地すべり地における層別地下水の考え方については、古くから多くの研究者によりその有効性や必要性が指摘されてきた^{1)・2)・3)・4)・5)}。現在では周知の事実であり、多くの現場で実践されているものの、調査の仕様や費用の面が影響しているのか、未だにボーリング掘削中の孔内水位や全孔ストレーナの保孔管による水位観測結果を用いて、想定される地下水位線を描き、間隙水圧の水圧面と仮定して地すべりの安定解析を行い、それに基づいて集水井工や横ボーリング工などの対策工が立案されている例が数多く見受けられる。

地すべり地で掘削されたボーリング孔の孔内水位を用いて描かれた水位線の例を図-1に示す。各ボーリング孔のそれぞれ任意の掘削深度時における孔内水位を結ぶとこの地すべり地の想定地下水位線を描くことができるが、実際には何れの水位線も任意の掘削深度においてボーリング孔内に生じた水位を結んだものであり、現実の地下水位線であるとは言い切れない。まして本当に必要である地すべりに影響を与えている地下水の水位・水頭を正確に表しているとは言い難い。

図-2に示すように、ボーリング掘削中の孔内水位や全孔ストレーナの保孔管による観測水位は、複数存在する帯水層・流動層の水位・水頭が総和されたものである。言い換えれば観測される孔内水位は、掘削深度や観測深度に複数存在している水位・水頭の平衡水位を示しているのである。

これらのことから、地すべり活動とそれに影響を与えている地下水との関係を正確に把握するためには、影響があると想定される複数の地下水流動層を対象とした水位観測孔を設けて水位変動を観測する必要がある。

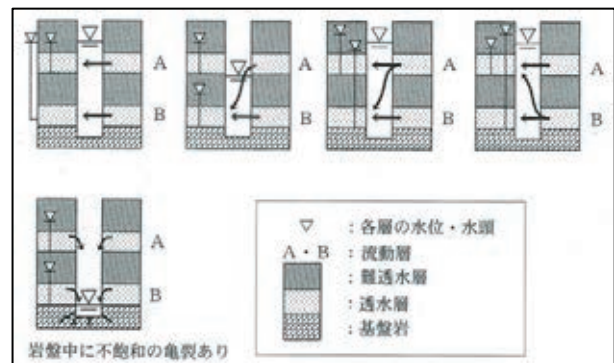


図-2 孔内水位の水理地質的な解釈の仕方⁶⁾

3. 層別地下水観測の必要性

地すべり地における地下水調査は、層別地下水の考え方が重要であり、地すべり安定解析に用いる地下水位、集水井工や横ボーリング工などの対策工の選定やその施工位置、対策施工後の効果評価などに有効な水位観測法である「層別地下水観測」が必要であると考えられる。

以下に層別地下水観測の方法について示す。

- ① 地質調査用のボーリング孔を使用して多点温度検層を実施し、地下水流動層の数とその存在深度を把握する。なお、一般的な地下水流動層を検出する方法として、塩分希釈による地下水検層が用いられているが、この方法では孔内水位が深部に存在する場合にそれ以浅に存在する地下水流動層を把握することができない。
- ② 多点温度検層結果を基に、試錐日報による掘削中の孔内水位変化、地質柱状図などを参考にして層別地下水の区分を行い、検出された複数の地下水流動層の内、地すべり活動に影響を与えている地下水流

動層を想定する。

- ③ 想定した地下水流動層に対応した水位観測孔を別途掘削する。
- ④ 水位観測の対象となる深度以浅は、観測対象以外の地下水の影響を受けないようにセメントミルク等で遮水する。

層別地下水観測の一例を図-3に示す。図-3に示した調査地は、横ボーリング工などの地下水排除工の施工が予定されていたが、既存の水位観測孔は想定されるすべり面 (GL-12.0m) より深部の水位を観測しているため、層別地下水の考え方に基づき、対策工の効果の評価するための水位観測孔を別途設けて、すべり面に影響する浅部の地下水の挙動を観測した。なお、対策工施工後は横ボーリング工からの排水も認められ、水位も全体的に低下したことが確認されている。

層別地下水観測のための多点温度検層を行った一例を図-4に示す。図-4に示した調査地は、ボーリング掘削中の孔内水位が浅部の想定すべり面 (GL-12.6m) より深部で逸水し、深部の想定すべり面 (GL-19.5m) 付近まで低下したため、浅層部と深層部の地下水流動層については想定できるが、その間に存在すると思われる浅部の想定すべり面に影響している地下水流動層については、塩分希釈による地下水検層を用いても把握できないため、層別地下水の考え方に基づき、多点温度検層を実施した。その結果、複数の地下水流動層が確認され、特に浅部の想定すべり面の直下付近で土塊変動に影響を与えていると思われる流動層 (GL-13.1m・14.1m) を確認することができた。今後は浅部の想定すべり面より浅層の流動層、直下の流動層、深部の想定すべり面付近の流動層を対象に水位観測孔を設けて地下水の挙動を把握し、適切な対策工を検討する必要がある。

4. まとめ

地すべり地の土塊変動と地下水の挙動を把握することは容易ではないが、層別地下水の考え方に基づき、層別地下水観測を行うことにより、土塊変動に対して最も大きな影響を持つ地下水流動層を把握することができ、その流動層のみを対象とした地下水排除工を検討できれば、工事に多額の費用を要する対策工を効率よく施工することができると思われる。

《引用・参考文献》

- 1) 岸本良次郎：地すべり地における地下水・地表水 (第三報) - 深さ別の地下水位・水圧変動現象の研究 -，地すべり，Vol.3, No.3, pp.21~39, 1967.
- 2) 内藤光雄・田中 茂：神戸層群に属する一地すべり地における層別地下水の分類方法並びにその挙動について，日本地下水学会誌，第26巻，第4号，pp.167~183, 1984.

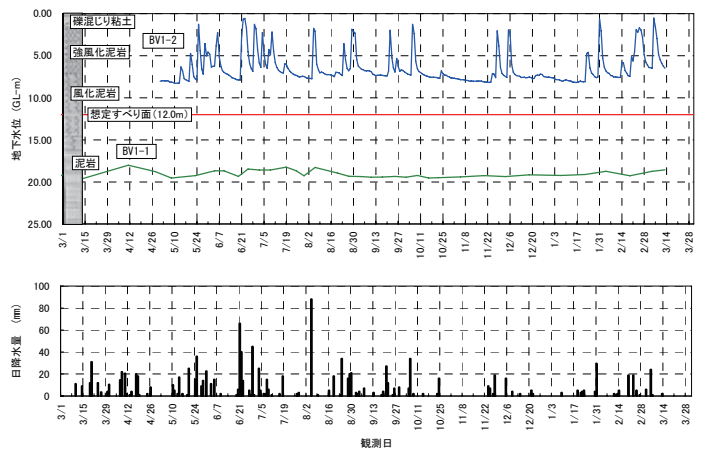


図-3 層別地下水観測の事例

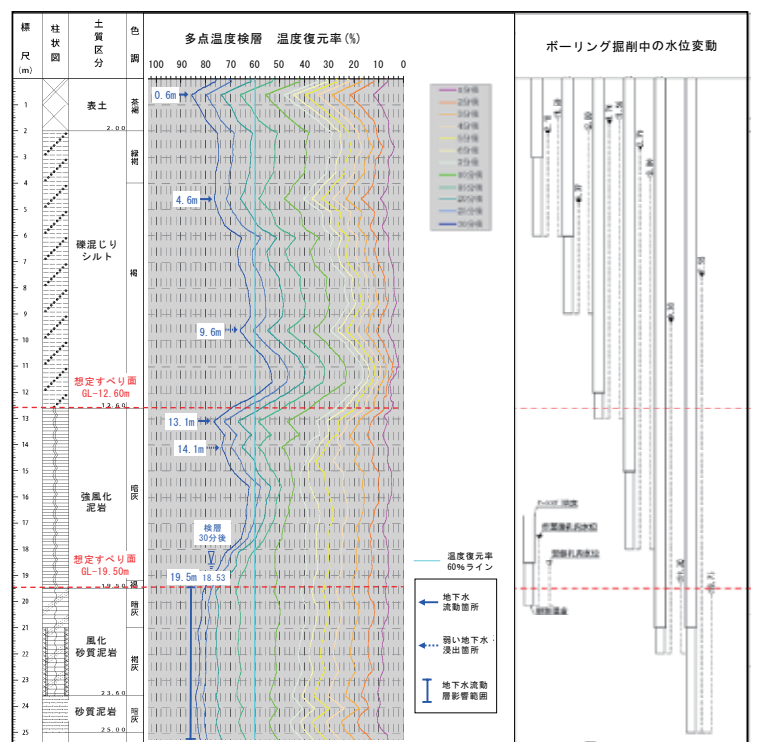


図-4 ボーリング掘削中の水位変動と多点温度検層結果

- 3) 竹内篤雄：地下水排除のための地温測定調査法 (その2) - 多点温度検層と層別地下水位観測の必要性について -，地すべり技術，Vol.19, No.1, pp.16~32, 1992.
- 4) 竹内篤雄・内藤光雄：地すべり活動に直接影響をおよぼす地下水の存在状態とその調査法，地すべり学会関西支部シンポジウム-地すべり地における地下水の形成とその動態-，pp.67~85, 1993.
- 5) 川上 浩：地すべり防止技術研究テキスト<下巻> - X I. 地すべり調査法特論 -，(財)地すべり対策技術協会，pp.1~38, 1995.
- 6) 伊藤芳朗・小林芳正・竹内篤雄編：地下探査技術セミナー，古今書院，pp.28~40, 2007.

NEW FACE



地盤技術室 南 逸人

今年の一月センターに入社しました地盤技術室の南です。

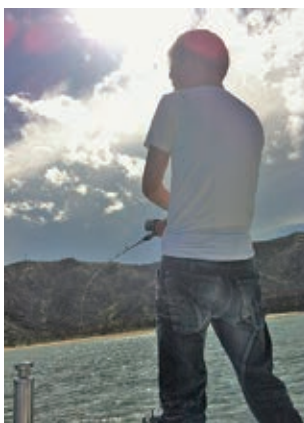
これまでは（協）岡山県土質試験センターで土質試験をしていたのですが、縁あって大阪に来ることになりました。出身は岡山市です。岡山は晴れの国岡山と言われるぐらい降水量が少なく温暖で住みやすい環境です。名物は桃とマスカットとキビ団子が有名です。

早いもので入社して3か月がたとうとしています。機械の操作ややり方の違い、レベルの高さに驚くばかりで、ついていくのに精いっぱいです。しかし、先輩の人達に支えられてなんとかやっていけております。

趣味は魚釣りです。釣り好きがこうじて沖縄の大学にいておりました。特にルアーフィッシングが好きで、週末は竿を片手にいろいろな場所に遠征して、沖縄では朝3時に起床して太刀魚、フエフキ鯛、アオリイカなどを狙いに行っていました。

大阪に来てからはまだ行けてないのですが、釣りが好きな人達が多い会社なので一緒に行けたらと思っております。

その他にもダーツ、ビリヤードなどいろいろ趣味があるのですが、お酒を飲みにはばかり行ってなかなかやる機会がありません。岡山と比べると大都会で土地勘がないので迷子になることも多いのですが、何とかアパートにはたどり着けるようになりました。



大阪に来て友達ができるかというのが一番の不安でしたが、プライベートでも年が近い同僚と朝まで遊びに行ったり、充実した毎日を送っています。

岡山を離れるのは大学の時以来、4年ぶりの一人暮らしをすると、家に帰るといつでも食べられる晩御飯、アイロンがけされたカットシャツなど今まで当たり前のようにしてもらっていた事を全部自分でしなくてはならず、改めて親への感謝の気持ちを実感しています。

今後の目標としては、一流の試験者になるため幅広い技術を勉強していきたいとおもいます。また、人脈を広げる事も大事だと思うので様々なことに積極的にチャレンジしていきたいと思っています。

センターにおいでの際は、ぜひお声をかけてください。今後とも宜しく願いいたします。

センター入所式報告

センター長 中山 義久

桜満開晴天の4月1日にセンター会議室にて、平成26年度入所式を執り行いました。職員・パート職員が勢ぞろいする中、佐藤専務理事と私が挨拶と歓迎の言葉を述べ、続いて辞令交付を行いました。

今年の新入職員は20才になったばかりで輝く未来と希望、力を持った平松翔輔君です。この3月に大原簿記専門学校を卒業し、総務企画室へ配属となり、挨拶の中で「センターに寄与できる人間になりたい」と抱負を述べました。また、協同組合島根県土質技術研究センターで実務経験のある、金津正子さんを職員として迎えました。

これで当センターは三好君、南君の2名に平松君を加えた若者3人組と、穏やかながらピカッと光る金津さんを迎え、更なる変貌を遂げていきます。どうぞよろしく願いいたします。



緊張の面持ちの2名



辞令交付



センター職員（最前列中央2名が新人）

行事・講習会・資格試験等のご案内

(26年3月24日現在)

| 主催 | 開催日 開催地 | 名称 | 募集内容 | 申込期間または 締切日 |
|---|-------------------|-------------------------|--------|-------------------|
| 関西地質調査業協会 http://www2.ocn.ne.jp/~kstisitu/ | | 匠（優秀オペレータ）募集 | 募集 | 10月1日 ～3月31日 |
| 全国地質調査業協会 http://www.zenchiren.or.jp/ | 7月12日予定 | 地質調査技士検定試験 | 資格 | 4月10日 ～5月12日予定 |
| | 7月12日予定 | 地質情報管理士検定試験 | 資格 | 4月10日 ～5月12日予定 |
| 地盤工学会関西支部 http://www.jgskb.jp/ | 4月15日 | 平成26年度通常総会・特別講演会 | 総会 | |
| 地盤工学会 https://www.jiban.or.jp/ | 7月15日～17日 北九州市 | 第49回地盤工学研究発表会 | 発表会 | 論文締切 |
| 土木学会関西支部 http://www.civilnet.or.jp/ | 5月31日 大阪産業大学 | 関西支部年次学術講演会 (平成26年度) | 講演会 | 論文締切 |
| 日本地すべり学会関西支部 http://japan.landslide-soc.org/branch/kansai/ | 4月18日 建設交流館 | 地すべり技術の海外展開 | シンポジウム | 4月10日 |
| 日本建築学会近畿支部 http://kinki.aij.or.jp/ | 6月21日、22日 | 日本建築学会近畿支部研究発表会 | 発表会 | |
| 全国建設研修センター http://www.jctc.jp/ | 7月6日学科 | 1級土木施工管理技術検定 | 資格 | 4月1日～15日 |
| | 10月26日 | 2級土木施工管理技術検定 | 資格 | 4月14日 ～28日 |
| 日本技術士会近畿本部 http://www.ipej-kin.jp/ | 10月13日 | 技術士（第1次試験） | 資格 | 6月13日 ～7月2日 |
| | 8月3日 | 技術士（第2次試験） | 資格 | 4月14日 ～5月8日 |
| 建設コンサルタンツ協会近畿支部 http://www.kkjcca.or.jp/ | 11月第2日曜日 予定 | RCCM | 資格 | 7月1日 ～31日予定 |
| 一般社団法人日本応用地質学会 http://www.jseg.or.jp/index.html | 4月11日東京 | 平成26年度土地地質研究部会 ミニ講習会 | 講習会 | |
| 日本材料学会地盤改良部門委員会 http://jiban.jsms.jp/index.html | 11月6日～7日 仙台市 | 第11回地盤改良シンポジウム | 募集 | 論文申込締切 3月31日 |

※内容の詳細については、ホームページ等でご確認願います。

こんな時代だから、 ちょっと♡心に残る良い話

今回のちょっといい話は、4月号ということもあり、
「出発の季節」の題でみつきました。お暇な時に一読してください。

(稲田 記)

【出発の季節】

言葉の持つ ふしぎな響き
たとえば — 出発
なんとうい明るい匂いだろう

けれど 遠い昔
暗い日響きを帯びる出発もあった

この地球が砲煙弾雨に包まれた日だ
—ひとびとは死への道を出発し続けた

出発という心打つ言葉に
いつでも 明るさを持たせたい
さわやかな喜びと光を担わせたい

未知なるもの に向かう道を
四月 あなたが出発する
わたしも 花を求めて出発する
目立たぬ草木にも 春は花を恵むのだ

【参考文献】「行為の意味」作者 宮澤 章二

編集後記

4月は入学式・入社式と新しい風が吹く季節ですね。当センターにも新入社員やNEW FAC Eも増えておりますので、本誌でご紹介させていただきますのでご覧ください。

センターにも新しい風が吹くことでしょう・・・。

新入社員を見ていると、「初心忘れるべからず」と思ってしまうのですが、皆さんが知っている意味とは少し違うみたいです。私たちが知っているのは、「何事においても始めたころの謙虚で真剣な気持ちを持ち続けていかねばならないという戒め。」だと思いますが、この言葉は世阿弥^{ぜあみ}が編み出したものです。世阿弥は、風姿花伝を始めとして、度々「初心」について述べていますが、晩年60歳を過ぎたころに書かれた「花鏡」の中で、まとまった考えを述べています。その中で、世阿弥は「第一に『ぜひ初心忘れべからず』、第二に『時々、初心忘れべからず』。第三に『老後の初心忘れべからず』」の、3つの初心について書かれています。

第一の意味は、若いときに失敗や苦勞した結果身につけた芸は、常に忘れてはならない。それは、後々の成功の糧になる。若い頃の初心を忘れては、能を上達していく過程を自然に身に付けることが出来ず、先々上達することはとうてい無理というものだ。だから、生涯、初心を忘れてはならない。

第二の意味は、歳とともに、その時々積み重ねていくものを、時々初心という。若い頃から最盛期を経て、老年に至るまで、その時々合った演じ方をすることが大切だ。その時々演技をその場限りで忘れてしまえば、次に演ずるときに、身についたものは何も残らない。過去に演じた一つの風体を、全部身に付けておけば、年月を経れば、全てに味がでるものだ。

第三の意味は、老齢期には老齢期にあった芸風を身につけることが「老後の初心」である。老後になっても、初めて遭遇し、対応しなければならない試練がある。歳をとったからといって、「もういい」ということではなく、其の都度、初めて習うことを乗り越えなければならない。これを、「老後の初心」という。

このように、「初心忘るべからず」とは、それまで経験したことがないことに対して、自分の未熟さを受け入れながら、その新しい事態に挑戦していく心構え、その姿を言っているのです。その姿を忘れなければ、中年になっても、老年になっても、新しい試練に向かっていくことができる。失敗を身につけよ、ということなのです。

(稲田 記)

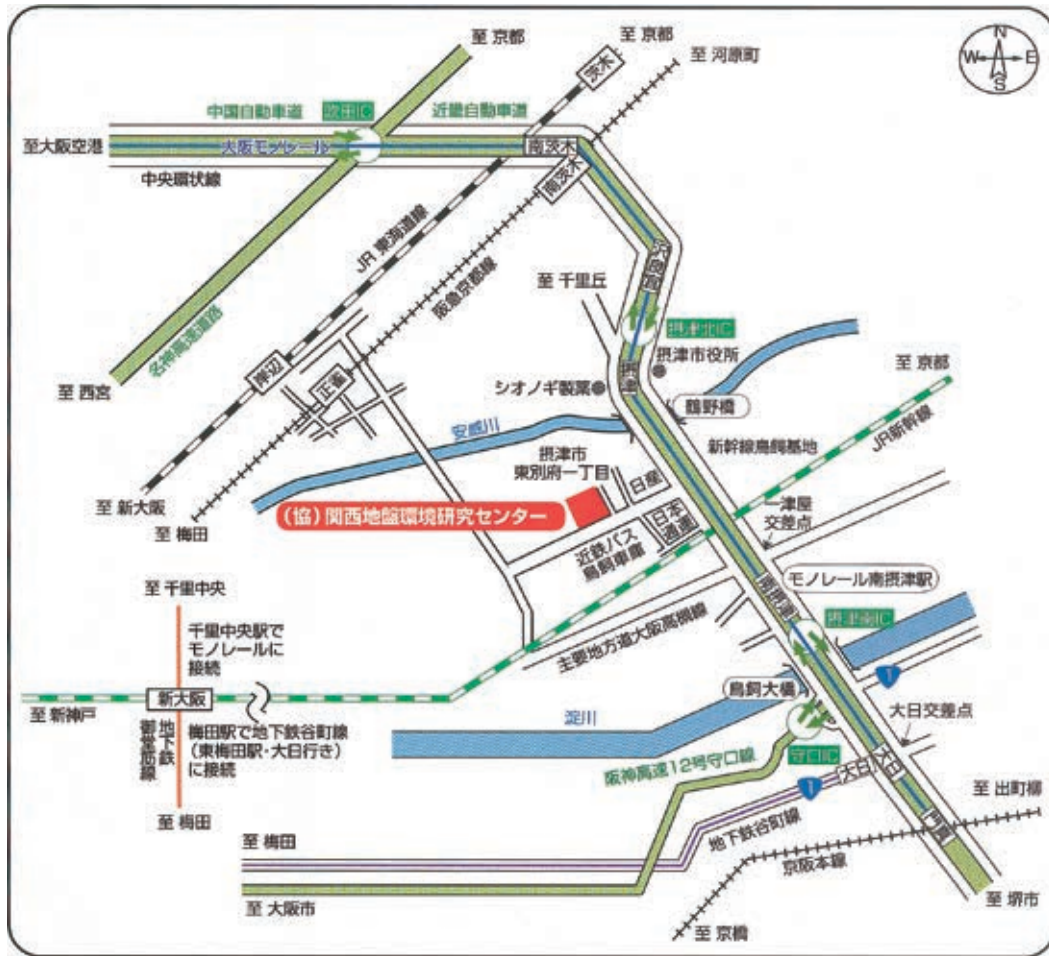
【参考文献】 <http://www.the-noh.com/jp/zeami/words.html#word01>

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
TEL 06-6827-8833 (代)
FAX 06-6829-2256
e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編集 情報化小委員会
編集責任者 中山義久
印刷



<http://www.ks-dositu.or.jp>



JR岸辺駅より車で約10分 阪急正雀駅より車で約10分 モノレール南摂津駅より徒歩約15分



JAB
Testing
RTL02160
認定範囲
M25機械・物理試験
M25.21土質試験

ISO 9001



JTCCM
OSCA
RQ 0704
(登録範囲) <http://www.jtccm.or.jp/>



MS
JAB
CM015

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<http://www.ks-dositu.or.jp>

ISO/IEC17025認定試験所(摂津試験所)

ISO9001認証取得

計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号

環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)